

第3回研究会への意見書

平成29年8月1日(火)

(仮称：勉強を求める会) 伊豆高原の自然と森を守る市民の会

代表： 田久保真紀

次回、開催が予定される伊豆高原太陽光発電所建設に反対する各団体との研究会について、新聞等で「次回は事業者を招集して反対運動の団体と意見を交換する」との報道がなされましたが、会の趣旨が「反対する各団体との研究会」であること、事業者が建設に対しての不安や危険の懸念を持つ行政区、団体、各自治会及び町内会への事業説明会を未だ開催していない、又は、開催はしたが十分な回答を行わず今に至ること、反対を表明する団体が増えており研究会へまだ参加していない団体が多数あることなどを鑑みて、当会としては事業者が各地区への事業説明会を終了し、地域理解を得られるまでは公的な場において各反対団体の代表と事業者とが会談し、事業内容を検討することを行わないことを意見致します。

それぞれの地区が抱える建設への不安や反対には事業予定地からの位置や地形などによって地域的な特徴があります。今回のような大規模かつ、多くの住民から不安と反対の声が上がる開発と事業に関しては、事業者はその地域の特性を踏まえた上で、それぞれの地域の住民が納得のいく形での事業説明の責任と義務があるものと考えます。まずはその義務と責任を果たした後に、各地域住民の代表との意見交換や調整が行われるべきであり、現状はまだその段階にあるものではありません。

市長及び行政に対しては、まずは事業者に対し、地域住民の不安を払拭する為の各団体・地域における積極的な住民説明会の開催と、その懸念事項に対し、調査やデータを添付した具体的な計画を示すなど誠実な質疑応答を行うよう、更なる指導をお願い致します。